



# くすの木



7月の生活目標：時間を守って行動しよう。

平成30年度 NO.5 四万十市立具同小学校 (0880-37-3249) 《文責：宮川》

## 宿泊学習

5年生の宿泊学習が、6月28日（木）～29日（金）に、幡多青少年の家で実施されました。5年生にとっては、初めての宿泊を伴う学校行事。2日目は雨のため、予定していた「フォトラリー」が室内での「防災力向上スタンプラリー」に変更にはなりましたが、全員が体調を崩すこともなく、体験活動や集団生活を通して、仲間との絆を深めることができたように思います。

1日目にまず行ったのは、昼食のカレーづくり。ジュース等のアルミ缶でご飯を炊き、野菜もしっかり切ってカレーを作り、おいしくいただくことができました。

お昼からは浮津海水浴場へ移動し、ボディボード等に楽しみました。台風の影響で、波がけっこうありましたが、逆にそれが面白くて、にわかサーファーがたくさん出現していました。

夜は、恒例のキャンドルサービス。厳粛な雰囲気スタートし、途中で各クラス（チーム）からの出し物（劇、クイズ、ダンス等）で、大いに盛り上がりました。5年生は、ほんと乗りがいです。

火の女神も登場！



2日目の午前中は、「防災力向上スタンプラリー」を行いました。ロープの結び方、ライター等を使わない火のおこし方、新聞紙を用いたスリッパ作り等を体験し、有意義な学びとなりました。

一つ一つの行事を終えるたびに、一回りも二回りも大きく成長する子ども達。この貴重な体験を、今後の生活にも是非生かしてもらいたいものです。海水浴の監視・見守りに、十数名の保護者の参加があり、無事楽しい海遊びとなりました。ご多用の中、ありがとうございました。

# 児童会役員選挙

7月6日（金）の1校時目に、児童会役員選挙が行われ、5・6年生の立候補者と応援演説者それぞれ14人が、体育館の舞台に立ち、堂々と演説することができました。毎回のことですが、子ども達の演説する姿に胸を打たれます。「もっとあいさつができる学校にしたい。」「いじめのない学校にしたい。」「みんなが『5あ』を守れるようにしたい。」「みんなが楽しめるイベントを企画したい。」「これまでの児童会の人達に憧れて、ぜひやってみてみたいと思った。」「みんなのいいところを広めたい。」「自分自身を変えたい。」「これまでお世話になった家族、友達、先生に恩返しをしたい。」等など、よく考えられた内容を、応援演説者も含めて全員が暗記して演説することができていました。

初めて児童会役員選挙に参加した3年生も、真剣に演説を聞くことができました。



**★新児童会役員★** 学校のリーダーとして、具同小学校に素敵な風を吹かしてください。

◆会 長：富永（6年） ◆副会長：奥宮（6年）、寺尾（5年）

◆書 記：森田（6年）、田村（5年）

## みんなで考えよう！ スマホ・インターネット

7月1日（日）午後、中央公民館において『幡多地区PTA・教育行政研修会』が開催され、佐竹PTA会長、久保副会長、濱口教頭とともに参加してきました。この会は幡多地区PTA連合会と高知県教育委員会の共催の研修会で、今年度は、約270名の保護者・教職員の参加がありました。全体会の後に行われた分科会において、「いじめ・ネットトラブル」の分科会に参加しましたので、その際、県教委の講師から伺った二つの話の概略を紹介します。

「スマホやネットのトラブルをなくすために、高知工科大学の学生に協力をえて、対策等を考える会を定期的にもっているが、その中で、協力をえているほぼ全ての学生が口を揃えて言うことがある。それは、将来子どもができた時、我が子にスマホを持たせる時期は中学校を卒業してからがいいということである。それはなぜか、あまりにも中学校時代に、特に『LINE』によるトラブルが多く発生し、多くの人が嫌な思いや経験をしたからだそうだ。」

「出会い系サイト等によって知り合った小中学生ぐらいの女子2人。ネット上での会話を続けるうちにプライベートな話題をやりとりする関係となる。そうこうするうちに、一方が秘密を約束したうえで自分の裸の写真だと称し送信することで相手を安心させ、相手から自撮りの裸の写真を送信するよう要求する。お分かりだろうが、最初に裸の写真を送信し安心させているのは、そういった写真を収集している男性である。言葉巧みに相手を信じさせ送信させた写真は、そういう類の間を抱えるマニアの間で取引され、最終的に、ネット上に拡散されるということになる。一度拡散した写真の全てを消去することは不可能である。」

二つの話を伺い、中学生だけでなく、小学生でのスマホ所持率が年々上がっている昨今、まだまだ確かな知識を持ち合わせておらず、思考力や判断力の面においても発達途上にある子ども達が、スマホやネットによるトラブルから果たして身を守れるのであろうか。スマホを持たせる時期も含めて、家庭でのルールづくりを真剣に考える時期はとっくに来ているように思います。